

大分県シェアリングネイチャー協会 派遣事業報告書

[由布くぬぎの森シェアリングネイチャーの会 氏名 古野、北田、末光]

行事名 「秋の自然でかくれんぼしているもの探し！！」	依頼者 由布市 西庄内児童クラブ
活動日 2015. 10. 24 (土) 12時30分～15時	活動場所 由布市庄内町柿原 城ヶ原公園
対象者 幼稚園児、小学生とクラブ指導員	参加者数 27人

内容

実施者：古野礼子、北田佳子、末光良一

- 1 自己紹介、ノーズで生き物に変身！（カエル、モグラ、トンボ）
- 2 自然に無いもの「かくれんぼ」。 (カモフラージュ)
- 3 しぜんのだいすきだいじさがし
- 4 自然のかさねことば

感想

晴天の続く秋空の下、日射しの暑さを感じながら。公園で元気いっぱい楽しみました。子どもたちは、午前中に公民館で「秋の読書祭り」に参加し、大きな絵本「森のかくれんぼ」を見てきたとのこと。それでは、今日は「自然にかくれているもの」を探すことにしました。

城ヶ原公園のくぬぎの森でお弁当を食べて、まずは自己紹介。指導者は子どもたちにヒントを告げ当てあいこ。「カエル、モグラ、トンボ」にそれぞれ変身して、公園の芝生広場をみんなで走り回りました。

さて、まずは自然に目を向けてもらうために「自然に無いもの」を探しました。入口にサルのぬいぐるみを梅の木に下げて、曲がりくねった場所でのゲーム「カモフラージュ」です。最初は10個程度見つけましたが、「まだあるよ。もっと探してね。」と3回、4回と探して、最後はみんなで見つけあいました。指導者も分らないほど「緑の三菱鉛筆」は自然に溶け込んでいたのをある子が発見、歓声が上がりました。くぬぎの森へ帰って「しぜんのだいすきだいじさがし。」大きな葉っぱ、小さな、きれいな、そしてドングリまで見つけて、3グループに分かれ見せあいこ。グループの代表を決めて、今日一番を決めました。突如、飛び入りがカマキリ、キリギリスを捕まえ、目の前で食べてしまいました。その驚きは、興奮状態。特に大人の方がドキドキでした。

最後に、自然のしぐさを言葉におきかえました。「川の音、ザアザア。葉っぱ、木々、砂利、その他身の回りから感じたことを「かさねことば」にして発表しました。最後に、3匹の動物は変身を解き、人間に戻ってごあいさつ。オプションとして、ドングリ駒を作って、公園で元気いっぱい遊びました。

